

## 平成20年度京都議定書目標達成計画関係予算案に含まれる主な予算

## A. 京都議定書6%削減約束に直接の効果があるもの 5, 194億円

## A-1. 省CO2型の地域・都市構造や社会経済システムの形成

(例)	
○地域バイオマス利活用交付金（農林水産省）	111億円
○バイオマスエネルギー地域システム化実験事業（経済産業省）	8億円
○低炭素地域づくり面的対策推進事業（環境省）	4億円
○街区まるごとCO220%削減事業（環境省）	4億円
○環境バイオマス総合対策推進事業（農林水産省）	4億円
○都市再生推進事業等に必要な経費（国土交通省）	3億円
	等

## A-2. 産業部門の対策

(例)	
○エネルギー使用合理化事業者支援補助金（経済産業省）	305億円
○省エネルギー対策導入促進事業費補助金（経済産業省）	11億円
	等

## A-3. 運輸部門の対策

(例)	
○クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金（経済産業省）	19億円
○水素社会構築共通基盤整備事業（経済産業省）	14億円
○燃料電池システム等実証研究（経済産業省）	13億円
○自動車省CO2対策推進事業（環境省）	1億円
	等

#### A-4. 業務その他・家庭部門の対策

(例)	
○住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業費補助金（経済産業省）	114億円
○高効率給湯器導入促進事業費補助金（経済産業省）	108億円
○業務部門対策技術率先導入補助事業（環境省）	19億円
○高効率厨房機器普及促進補助事業（経済産業省）	4億円
○エコポイント等CO <sub>2</sub> 削減のための環境行動促進事業（環境省）	4億円
○地域協議会民生用機器導入促進事業（環境省）	3億円
○省エネ製品買換え促進事業（環境省）	3億円
○中小事業者等による住宅・建築物に係る省エネ対策の強化（国土交通省）	3億円
	等

#### A-5. エネルギー供給部門の対策

(例)	
○電源立地地域対策交付金（経済産業省）	1104億円
○新エネルギー等導入加速化支援対策費補助金（経済産業省）	378億円
○新エネルギー技術フィールドテスト事業（経済産業省）	86億円
○エネルギー多消費型設備天然ガス化推進補助事業（経済産業省）	45億円
○大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究（経済産業省）	36億円
○原子力発電施設等立地地域特別交付金（経済産業省）	32億円
○ソフトセルロース利活用技術確立事業（農林水産省）	32億円
○風力発電系統連系対策助成（経済産業省）	30億円
○バイオ燃料地域利用モデル実証事業（農林水産省）	29億円
○定置用燃料電池大規模実証事業（経済産業省）	27億円
○エコ燃料実用化地域システム実証事業費（環境省）	23億円
○廃棄物処理施設における温暖化対策事業（環境省）	21億円
○噴流床石炭ガス化発電プラント開発費補助金（経済産業省）	21億円
○地熱開発促進調査費補助金（経済産業省）	19億円
	等

#### A-6. エネルギー起源二酸化炭素以外の排出削減対策・施策

(例)	
○地域地球温暖化防止支援事業費補助金（経済産業省）	31億円
○ノンフロン型省エネ冷凍空調システム開発（経済産業省）	6億円
○省エネ自然冷媒冷凍装置導入促進事業（環境省）	3億円
	等

#### A-7. 森林吸収源対策（森林の整備を行うもの）

(例)	
○森林環境保全整備事業（内閣府＋農林水産省＋国土交通省）	1065億円
○水源林造成事業（農林水産省）	288億円
○治山事業費（森林の整備を行うもの）（内閣府＋農林水産省＋国土交通省）	182億円
○漁場保全の森づくり事業（農林水産省＋国土交通省）	100億円
○里山エリア再生交付金（内閣府＋農林水産省＋国土交通省）	99億円
○農業用水水源地域保全整備事業（農林水産省＋国土交通省）	50億円
	等

#### A-8. 京都メカニズムのクレジット取得関連事業

(例)	
○京都メカニズムクレジット取得事業（環境省＋経済産業省）	308億円
○京都メカニズムを利用した途上国等における公害対策等と温暖化対策のコベネフィット実現支援等事業（環境省）	13億円
	等

#### A-9. 横断的な施策等

(例)	
○温室効果ガスの自主削減目標設定に係る設備補助事業（環境省）	30億円
○地球温暖化防止「国民運動」推進事業（環境省）	27億円
○省エネルギー設備導入促進情報提供等事業（経済産業省）	17億円
○温室効果ガス排出削減事業費補助金（経済産業省）	7億円
○地球温暖化防止活動推進センター等基盤形成事業（環境省）	7億円
○土壌由来温室効果ガス発生抑制システム構築事業（農林水産省）	5億円
	等

## B. 温室効果ガスの削減に中長期的に効果があるもの 3,095億円

### B-1. 対策技術の開発等

(例)	
○高速増殖炉サイクル技術【国家基幹技術】(文部科学省)	290億円
○ITER計画の推進(文部科学省)	103億円
○新エネルギー技術研究開発(経済産業省)	77億円
○エネルギー使用合理化技術戦略的開発(経済産業省)	69億円
○固体高分子形燃料電池実用化戦略的技術開発(経済産業省)	67億円
○次世代蓄電システム実用化戦略的技術開発(経済産業省)	53億円
○住宅・建築物「省CO2推進モデル事業」(国土交通省)	50億円
○発電用新型炉等技術開発委託費(経済産業省)	44億円
○環境適応型高性能小型航空機研究開発(経済産業省)	41億円
○地球温暖化対策技術開発事業[競争的資金](環境省)	37億円
○革新的ゼロエミッション石炭火力発電プロジェクト(経済産業省)	33億円
○グリーンITプロジェクト(経済産業省)	23億円
	等

### B-2. 対策技術の中長期的な普及、人材育成等

(例)	
○電源開発促進関連事業(文部科学省)	339億円
○森林・林業・木材産業づくり交付金(農林水産省)	97億円
○緑の雇用担い手対策事業費(農林水産省)	67億円
○環境にやさしく経済的な次世代内航船舶(スーパーエコシップ) の普及支援(国土交通省)	40億円
○農地・水・環境保全向上対策のうち営農活動支援交付金(農林水産省)	30億円
○先導的都市環境形成促進事業(国土交通省)	3億円
	等

## C. その他結果として温室効果ガスの削減に資するもの 3, 430億円

### C-1. 森林吸収源対策（森林の整備以外のもの）

(例)	
○治山事業費（林地を保全するもの）（内閣府＋農林水産省＋国土交通省）	905億円
○森林居住環境整備事業（農林水産省＋国土交通省）	97億円
○森林整備地域活動支援交付金（農林水産省）	72億円
○山のみち地域づくり交付金（農林水産省）	50億円
○山林施設災害関連事業費（農林水産省）	49億円
○林道施設等災害復旧事業（農林水産省）	29億円
○既設道移管円滑化事業（農林水産省）	20億円
	等

### C-2. 運輸部門の対策

(例)	
○公共交通の利用促進のための路面電車の走行空間の整備等（国土交通省）	380億円
○都市鉄道整備事業費補助（国土交通省）	306億円
○高度道路交通システム（ITS）の推進（国土交通省）	195億円
○自動車交通需要の調整（国土交通省）	116億円
○地方バス路線運行維持対策（国土交通省）	74億円
○都市交通システム整備事業（国土交通省）	71億円
○交通施設バリアフリー化設備整備費補助金（国土交通省）	32億円
○鉄道駅移動円滑化施設整備事業費補助（国土交通省）	24億円
○都市鉄道利便増進事業費補助（国土交通省）	15億円
	等

### C-3. 原子力関係

(例)	
○原子力発電施設等緊急時安全対策交付金（経済産業省）	33億円
○燃料等安全高度化対策委託費（経済産業省）	7億円
	等

### C-4. 廃棄物の焼却等に伴う温室効果ガス排出の削減

(例)	
○循環型社会形成推進交付金（環境省）	323億円
○廃棄物循環型社会基盤施設整備費補助（環境省）	128億円
	等

## D. 基盤的施策など 447億円

### D-1. 対策の評価・見直し

(例)		
○地球温暖化問題対策調査委託費（経済産業省）	5億円	等

### D-2. 排出量・吸収量の算定等

(例)		
○森林吸収源インベントリ情報整備事業（農林水産省）	5億円	
○温室効果ガス排出・吸収量目録関連業務費（環境省）	1億円	
○温室効果ガス排出・吸収量削減対策技術情報管理システム構築費（環境省）	1億円	
○森林等の吸収源対策に関する国内体制整備確立調査費（環境省）	1億円	
		等

### D-3. 気候変動に係る研究の推進、観測・監視体制の強化

(例)		
○地球観測衛星の開発に必要な経費（文部科学省）	165億円	
○南極地域観測事業費（文部科学省）	47億円	
○地球環境研究総合推進費（環境省）	32億円	
○21世紀気候変動予測革新プログラム（文部科学省）	22億円	
○地球観測システム構築の推進（文部科学省）	10億円	
○気候変動予測研究費及び電子計算機運営費（国土交通省）	5億円	
		等

### D-4. 地球温暖化対策の国際的連携の確保、国際協力の推進

(例)		
○国際エネルギー消費効率化等協力基礎事業（経済産業省）	22億円	
○世界気象機関分担金（国土交通省）	10億円	
○環境問題拠出金（外務省）	5億円	
○次期国際枠組に関する日本イニシアティブ推進経費（環境省）	1億円	
		等